

Q. セメント瓦について知りたい。

A. セメント瓦とは、セメントと砂と水を混ぜ合わせ、型に入れて成形して作られる屋根瓦です。沖縄にセメント瓦が導入されたのは1935年（昭和10）のことです。名護出身の岸本久幸が台湾で技術を学び、帰郷後に工場を創業して、「南国耐風瓦」として製造を始めたのが最初とされています。セメント瓦はその名の通り台風に強く、赤瓦のような焼成工程も必要ないため安価に製造できたことから、普及していきました。

戦後、アメリカ政府のガリオア援助*を受けた琉球政府は、生産枚数を割り当てることで製造業者を支援しました。それによって造られたセメント瓦は「復興瓦」と呼ばれ、県内各地で使われるようになりました。さらに、赤瓦よりも製造しやすく施工も容易だったため「セメント瓦工場は儲かる」とされ、名護を中心に宮古・八重山を含む県内全域へと広がっていきました。

1964年（昭和39）に琉球セメント株式会社（以下、RC造）の供給を開始すると、これまで本土から取り寄せていたセメントが県内でも手に入るようになり、鉄筋コンクリート造（以下、RC造）住宅が次第に増加しました。そして、1950年（昭和25）から始まっていた琉球復興金融基金**などの融資制度が、RC造住宅を優遇していたことも、RC造住宅の増加に拍車をかけました。さらに、建物本体と一体で建設できる陸屋根（RC造の平らな屋根）が、台風で瓦が飛ばされる心配がないなどの理由から、RC造住宅では多く用いられるようになり、瓦そのものの需要は次第に減少しました。最盛期には県内各地にあったセメント瓦工場も、現在は名護市の1カ所だけを残すのみとなっています。

ところで皆さんは、セメント瓦屋根の棟端に取り付けられている、装飾的な瓦にお気づきでしょうか？ この瓦は「花瓦」と呼ばれ、赤瓦にはないセメント瓦の特徴の一つになっています。花瓦には、漢字やカタカナ、アルファベットなどの文字のほか、トランプのマークや、星、花、鳥などの記号や図形など、多様な意匠が施されています。花瓦は単なる飾りではなく、その瓦を製造した工場のマークにもなっており、花瓦を見ればどの工場で製造されたか分かりました。また、花瓦は屋根の最も目立つ部分にあることから、職人の腕の見せ所でもありました。

戦後復興とともに多くの住宅で使われてきたセメント瓦ですが、RC造住宅の普及により、現在ではその姿をあまり見かけなくなりました。しかし、花瓦に刻まれた意匠の多様性は、当時の技術力の高さと職人のデザイン感覚を今に伝えています。沖縄の風景の代名詞と言えば赤瓦の屋根を思い浮かべるとはいますが、戦後復興の証人とも言えるセメント瓦屋根も、沖縄らしい風景の一つに数えてよいのかもかもしれません。（宮良）

* Government and Relief in Occupied Areas Fund（占領地域統治救済資金）通称「ガリオア資金」による援助。

**1950年に米国軍政府布令第4号により設立された、住宅および諸生産施設などの復興のための長期設備資金の供給機関。1959年（昭和34）に琉球開発金融公社へ引き継がれた。



（花瓦の例 撮影：筆者）

参考資料

- 『沖縄大百科事典』上・下 沖縄大百科事典刊行事務局編 沖縄タイムス社 1983年
- 『第19回 名護博物館企画展 沖縄のセメント瓦 名護からの発信』名護博物館 2002年
- 『建築知識』第67巻第3号（通巻844号） エクスナレッジ 2025年
- 『名護市史・本編7 社会と文化』名護市史編さん委員会編 名護市役所 2002年
- 伊波慶彦ほか「沖縄のセメント瓦の普及と使用方法について―沖縄県名護市を調査対象として―」『日本建築学会計画系論文集』第87巻802号 2022年
- 知念良之・定正己「沖縄における住宅構造材の歴史の変遷に関する一考察」『日本森林学会誌』97巻3号 2015年
- 『琉球新報』2025年7月15日朝刊18面

利用案内

開館時間 9：00～20：00

休館日 火曜日・年末年始・特別整理期間

※11月11日(火)～25日(火)は、特別整理期間のため休館いたします

※図書館専用の駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください

- 館内への食べ物の持ち込みはご遠慮ください
飲み物は、密閉できる容器であればお持ち込みいただけます
※5階郷土資料室は完全飲食禁止です
- 携帯電話などの通信機器はマナーモードに設定してください
お電話は4階・5階の電話ボックスをご利用ください
- 館内は撮影禁止です。撮影には別途申請が必要です

図書館カレンダー11月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						
						は休館日です

VOL.
203
2025年11月号

沖縄県立図書館

としょかん

つうしん

—すべての島んちゅに本との出会いを—

図書館通信



沖縄県立図書館
公式ホームページ
QRコード

「おきなわ」の読書の秋——イベントと休館のお知らせ——

陽射しが和らいだとはいえ、沖縄では半袖で過ごせる陽気が続いております。皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、今年も11月3日（文化の日）に「としょかんまつり」を開催します！講演会やワークショップなどイベント盛りだくさん！イベント詳細は館内・HPをご覧ください。

誠に恐縮ながら、11月11日（火）から11月25日（火）まで、蔵書点検のため、長期休館とさせていただきます。休館中も電子書籍サービス、オンライン利用者登録は24時間ご利用可能です。どうぞご活用ください。引き続き、暑さにご留意いただき、ご愛顧ください。

11月3日（月・文化の日）は第16回「としょかんまつり」！

図書館の機能を幅広く紹介し、講演会などの多彩なイベントを通じて、読書活動と文化振興を推進し、地域住民の交流と生涯学習を深めるために「としょかんまつり」を開催します。

イベントを一部紹介！

健康・医療講演会

管理栄養士 浦崎侑未講演会

「美と健康のための腸活」

講演内容
管理栄養士の浦崎侑未氏を講師にお招きし、「腸活」について分かりやすいお話を伺います。免疫やメンタル面、そして美容にも大きく関わる「腸」の役割やおすすめのレシピなどについて学べます。

キャリア教育セミナー

下地邦拓トークイベント

沖縄に産業をつくる！～未来を潤す私のチャレンジ～

講演内容
「いかに沖縄に新たな産業をつくるか！」この思いを軸に、キャリアを築いてきました。沖縄市で生まれ育ち、高校卒業後はアメリカへ飛び出し、海外で多くの経験を積んできました。今はOISTの研究や技術を世界に届けながら、沖縄に新しい産業を生み出す挑戦を続けています。ふつうの中高生として育った僕が、どう世界とつながり、沖縄の未来にチャレンジしているのか——その軌跡をお話します。

その他、詳細やイベントのお申し込みは沖縄県立図書館ホームページをご覧ください。



イベント詳細
QRコード

申込用
QRコード



申込用
QRコード



【締め切り迫る！】あなたの「推し本」で全国大会へ！

あなたの熱い読書愛を全国大会で叫ぶ！！

知的書評合戦「全国高等学校ビブリオバトル沖縄県大会2025」のエントリーが始まっています！「ビブリオバトル」とは、参加者一人ひとりがお気に入りの本を持ち寄り、その本を順番に紹介し、最も読みたくなった本1冊をチャンプ本として選出する書評合戦です。プレゼン能力を高め、新しい仲間や本と出会える大会です。

締切は11月14日(金)17時。詳細は図書館HPをチェックしてくださいね！

主催： 全国高等学校ビブリオバトル沖縄県大会実行委員会

共催： 活字文化推進会議

後援： 沖縄県教育委員会・読売新聞社

協力： 沖縄国際大学図書館情報学研究室・沖縄県図書館協会調査研究部会

日時： 令和7年12月6日（土）13時30分受付開始、14時開始

会場： 沖縄県立図書館 4Fビジネスルーム（〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1丁目20-1）



詳細はこちらから

問い合わせ先： 沖縄国際大学・図書館情報学研究室 山口真也（実行委員会副委員長）

電話 098-893-4192 メール yamaguchi@okiui.ac.jp ■は@に置き換えてください。

住所 〒901-2701 沖縄県宜野湾市宜野湾2-6-1

※お問い合わせはできるだけメールにてお願いいたします。

一冊の本が君の未来を変える！

沖縄から全国へ

全国高等学校ビブリオバトル 2025 沖縄県大会

12月6日(土)

14:00～16:30(13時30分開場)

会場 沖縄県立図書館4Fビジネスルーム

対象者 沖縄県内の高等学校に在籍する生徒

申し込みについて 詳細はこちらのQRコードから申し込みください。申し込みフォーム、締切は11月14日(金)17時。開催費は無料です。

お問い合わせ先 沖縄国際大学図書館情報学研究室 山口真也（実行委員会副委員長） 電話 098-893-4192 メール yamaguchi@okiui.ac.jp ■は@に置き換えてください。

登録スタッフ おすすめ

新着図書紹介

沖縄県立図書館では、**毎週水曜日**に新着図書が新着図書コーナーに展示されます。

ここでは「県立図書館の本のデータ登録」をしているスタッフが「**これぞ！おすすめ！**」と感じた本をご紹介します。 ※こちらで紹介された本は新着図書コーナーに展示した後、それぞれ本棚に戻されます。貸出、予約は資料コードをご活用ください。

郷土資料（琉球・沖縄関係資料）5階

一般図書 4階



予約用資料コード 1010619235

那覇ハーリー 復活50年記念誌

那覇ハーリー復活50年記念誌編集委員会／編
出版：那覇爬竜船振興会 出版年：2025.2

内容紹介

何度も途絶えながらも復活を遂げてきた那覇ハーリーの、復活50年を記念した一冊。

600年以上の伝統を誇る那覇ハーリーの歴史や各チームの紹介、50年間の貴重な記録写真を掲載しています。

復活の経緯をはじめ、各地域に伝わる「ハーリー歌」や船の構造も詳しく紹介しており、那覇ハーリーや船に興味のある方におすすめです。



予約用資料コード 1010619367

ムーンビーチ50周年記念誌 そして、未来へ

The Moon Beach Museum Resort 50 Years Story Since 1975

ムーンビーチ50周年記念誌編集委員会／編
出版：ムーンホテルズアンドリゾート株式会社 出版年：2025.7

内容紹介

戦後、戦没者慰霊から始まった沖縄観光は、本土復帰や海洋博覧会を経て大きく変化しました。その中で誕生した沖縄初のリゾートホテル「ムーンビーチ」。本書は、その50年の歩みを振り返る記念誌で、観光地としての発展と人々の思いを、美しい写真とともに伝えます。

沖縄の観光史やリゾート文化に関心のある方におすすめです。



予約用資料コード 1010619367

逆格差論、名護市長岸本建男と象設計集団が造したものの

菊地 史彦／著 出版：論創社 出版年：2025.7

内容紹介

画期的なまちづくりと独創的な建築で「山原の奇跡」と呼ばれた地域。その舞台裏で、一人の市長が苦渋の選択を重ねながら地域の自立を模索した軌跡を描きます。

Webサイト『OKIRON』の連載に書き下ろしを加えた力作です。地域づくりや地方自治に関心のある方におすすめです。



予約用資料コード 1010539128

草の竖琴 The Grass Harp and Other Stories

トルーマン・カポーティ／著、村上 春樹／訳
出版：新潮社 出版年：2025.6

内容紹介

少年のイノセンスを瑞々しく描いたカポーティの名作を、村上春樹が新たに訳した一冊。1940年代アラバマ州の田舎町を舞台に、母を亡くした少年コリンと、彼を見守る老姉妹の心の交流を描きます。代表作「草の竖琴」のほか、「最後のドアを閉めろ」「ミリアム」「夜の樹」を収録。繊細な言葉の美しさを味わいたい方におすすめです。



予約用資料コード 1010538732

お年よりと絵本をひらく

中村 征子／著
出版：福音館書店
出版年：2025.6

内容紹介

大人になっても、やっぱり絵本は心に響く――。高齢者デイサービスでの絵本の読み聞かせ記録をまとめたブックガイドです。お年寄りならではの絵本の楽しみ方や選書のヒントを紹介。『Web福音館』の連載に加筆修正と書き下ろしを加えた一冊。絵本を通して人と心をつなぎたい方におすすめです。



予約用資料コード 1010552816

香りと香水の植物百科図鑑

イギリス王立植物園キューガーデン版
ジョシュ・カーター[ほか]／著、サミュエル・ギアリング／著、キューガーデン／著、上原 ゆうこ／訳
出版：原書房 出版年：2025.8

内容紹介

キュー王立植物園所蔵の美しい植物図譜と専門家の解説で、名香を支える100の植物原料を紹介する一冊。自然原料の起源に焦点をあて、各項目では関連する注目のフレグランス・ブランドも取り上げています。香りや植物の世界に興味のある方におすすめです。



わらびんちゃ〜だより

3階子ども読書活動推進エリア担当職員が
今月のおすすめ本を紹介します♪



児童担当いっちゃ

11月3日は「文具の日」、11月26日は「ペンの日」と11月は文具にまつわる記念日がいくつもあります。

そこで今月は、文房具をテーマにした本を紹介します。



3歳〜5歳におすすめ **えほん**

まっくろけまっしろけ

マックス・アマー／さく・え、いけもと なおみ／やく
出版：潮出版社 出版年：2019.5

予約用資料コード 1008570630

おはなし

けしこむくんは、紙が真っ白なのが大好き。ところが、えんぴつくんは、真っ黒にするのが大好き！なので、紙はどんどんまっくろに。
けしこむくんはがんばって紙をまっしろにしますが…。正反對のふたりのコントのようなたたかいにページをめくる手が止まらない、文具絵本です！

小学1〜2年生におすすめ **えほん**

天使のえんぴつ

ケンティン・ブレイク／作、柳瀬 尚紀／訳
出版：評論社 出版年：2008.4

予約用資料コード 1004919666

おはなし

クルッピーとウカレッピーはチョコレート・ビスケットや炭酸ドリンク、そして絵を描くことが大好きなふたりの女の子。でも、本当はふたりは天使なので、不思議なえんぴつをもっていて…。こんなえんぴつで絵を描いてみたい！と思うような一冊。

小学3〜4年生におすすめ **児童書**

ホラーチック文具5分間ノンストップショートストーリー

染谷 果子／著
出版：PHP研究所 出版年：2022.1

予約用資料コード 1009776657

おはなし

50年間続けた店をたたみ文具を不慣れに思った店主は折った。「文具たちが自ら人々の元へ行き、力を発揮できるように」祈りは神に届き、文具たちに命が宿る。何もかも消すことができるケシゴム、縁を切るハサミなど、ソクソクが止まらない、不思議で怖いショートストーリー集。

展示案内

沖縄県立図書館で予定されている展示をご紹介します。特に記載がない場合は、3階展示エリアでご覧いただけます。
※展示によっては内容・日程等変更がある可能性もあります。（11/11〜11/25までは蔵書点検のため休館となります。）

10/8〜11/3	沖縄県こども家庭課	みんなに知ってほしい、ヤングケアラ―
10/22〜11/3	沖縄県生涯学習振興課	おきなわ県民カレッジ連携展示 沖縄芝居観賞に関する展示
10/22〜12/1	歯並び〜センター（沖縄県健康長寿課）	R7年11月「歯がんじゅう月間」パネル展示
10/22〜11/3	吃音啓発の会	「国際吃音啓発の日」関連展示
10/29〜11/10	沖縄県読書推進運動協議会	「本のある風景写真コンクール」受賞者展示
11/5〜11/10	沖縄県科学技術振興課	科学技術振興課小淵沖縄教育研究プログラム関連
11/5〜12/1	沖縄県生活安全安心課	製品安全総点検月間展示
11/26〜12/8	国税事務所	令和7年度 中学生・高校生の税に関する作文優秀作品展
11/26〜12/15	沖縄県自然保護課	令和7年度動物愛護コンクール 優秀作品の展示
通年	沖縄県博物館・美術館	博物館 ～12/1戦災文化財展 失われた沖縄の文化財と取り戻した軌跡 美術館 ～1/26戦前ぬい（いくさぬい）―沖縄文化の近代―
通年	JICA沖縄	開発途上国・SDGs・国際協力を知る資料やJICA沖縄の施設・事業を紹介

自主企画展示

10/22〜11/10	全国図書館大会愛媛大会連携展示
10/22〜11/10	子どもの健康に関する本の展示
11/26〜12/8	障がい者サービス展示
11/26〜12/8	多文化サービス展示

子どもの読書活動推進エリア

10/15〜11/10	【ティーンズコーナー】どうぶつの本展示
11/5〜11/10	【絵本・子どもの本展示】テーマ「お手紙」
11/26〜12/8	【絵本・子どもの本展示】テーマ「ふしぎなおはなし」
11/26〜12/15	【ティーンズコーナー】小泉八雲と怪談の世界

たくさんのお本の
出合いの秋を
楽しんでね！



11月のおはなしの森

11月9日(日)10:30〜
世界の絵本読み聞かせ会

11月27日(木)10:30〜
えいごでおはなし会

開催報告！

いきなりおはなし会

全体的なおはなし会は参加無料です。
通常、約30分間行います。どうぞお気軽にご参加ください。

9月18日の「しまくとうばの日」にちなみ、沖縄のわらべ歌や手遊び、そしてしまくとうば（沖縄の言葉）での絵本『おおきなかぶ』の読み聞かせを行いました。

会場にはたくさんの親子連れが集まり、地域の言葉で聞くロシア民話に、皆さん興味津々な様子で聞き入っていました。

「しまくとうばは子どもたちには少し難しいかな？」という心配もありましたが、馴染みのある物語に、子どもたちは読み手と一緒に「ハイヤ！ヒヤササ！」と元氣なかけ声を響かせていました。

ふんこんん

文庫連まつり 11月3日 なれの日 **特別 おはなし会**

時間 11:00〜12:00

対象 幼稚園〜小学生

テーマ **「絵本のなかの動物たち」**

いきなりおはなし会とは・・・
様々な絵本に触れ、親子の交流を深める場を提供するため図書館流通センター（TRC）が不定期に行うおはなし会です。

また、動物の鳴き声の表現が、標準語とは違った沖縄独特のものだと分かると、驚きの声が上がった場面も。参加者は物語の世界に積極的に参加し、大いに楽しんでくれました。

当日は31名の方にご参加いただき、会場は活気にあふれ、温かい盛り上がりを見せたおはなし会となりました。

次回も「いきなり」行いますので、お時間合えばぜひご参加ください♪